豊後大野市農業委員会だより　第13号　発行：豊後大野市農業委員会　大分県豊後大野市三重町市場　TEL 0974（22）1001

# ふるさとの大地を守る！“若き鉄人たち”

**今回は、インキュベーションファーム第１期研修修了生の大野町田代、持田由美子さん（34歳）、持田美千代さん（34歳）ご姉妹をご紹介します。**

由美子さん、美千代さんは双子の姉妹で、お母さんと３人で同居されています。出身地は福岡市内です。姉の由美子さんは、高校卒業後１年間北海道で酪農の勉強を経た後、飲食店でバイトをしていましたが、インキュベーションファーム研修事業を知り、４年前に市内へ転入されました。妹の美千代さんは、高校卒業後、湯布院の飲食店に働いていた時に同事業について由美子さんから誘われ、3年前に転入されました。研修修了後の現在、大野町中原の15アールの圃場を借り、指導者や農林業公社のサポートを受けながら夏秋ピーマンの栽培に取り組まれています。

農業に関心を持たれたきっかけをお聞きすると「小さい頃は周りに農家が多かったが、実家は農家ではなく、農業をやってみたかった。インキュベーションのタイミングが良かった。」と由美子さん。

朝は６時頃から収穫を始めているとのことで、「木の成長が難しく、指導をいただいている。今年は天候が悪く、実が付かないことが大変と感じる。毎年課題は異なるが、農業としてはそこも面白い。」と美千代さん。今後の目標については、「当面はこの圃場の規模を維持し、ピーマン一筋に頑張りたい。」と由美子さん。11月頃まで出荷が続くそうです。

由美子さん、美千代さんは、仕事のかたわら地元バレーチームにも所属するなど、地域活動にも積極的に参加されています。「スポーツも大好き！」と目を輝かせるお二人。また、休日は県内の温泉で疲れを癒し、リフレッシュされているそうです。

「豊後大野の農業の担い手」として、また「女性のパワーで地域の底力」として奮闘する持田由美子さん、持田美千代さんに栄光あれ！

## 農業委員交代のお知らせ

須藤修三委員（担当地域：緒方町、農協推薦）の６月25日付退任に伴い、秦忠士委員（農協推薦）が８月１日付選任されました。担当地域は緒方町です。

## 編集後記

田んぼの畔に堂々とピンクの姿をさらけ出して、本当にうらやましい。俺もこの村でピンクのシャツを着て歩いてみたい。

梅雨空に、ひと際目立つジャンボタニシは、年間総産卵数３千個を超え、旺盛に繁殖するそうです。

うなぎカゴや鯉のえさなどいろいろ試してみても、なかなかうまくいかない。

今度、誰かこの厄介者を退治して、『元気色ピンク卵のビン詰め』とか開発し、農業委員会だよりで発表してほしいです。

（F・K）

第13号編集委員

委員工藤妙子
藤田渡野関工
原崎邊口屋藤
啓耕定重治妙
次作夫徳且子